

「最近の機械貿易動向(4月)～機械輸出額 18ヶ月連続減少～」

日本機械輸出組合 2020.6.19

2020年4月の機械輸出額は3兆1,054億円、対前年同月比27.3%減と、18ヶ月連続で前年同月比減少した。これは、① 5地域向けで前年同月比減少したこと、② 21業種中19業種が減少したことなどによる。為替・営業日要因が3.4%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は29.7%減となった。2020年5月の為替・営業日要因は7.2%の減少寄与要因となっているが、6月17日発表の貿易統計速報による簡易計算では、5月の機械輸出は34.1%減であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:5兆2,060億円(前年同月比 [以下同じ] 21.9%減、17ヶ月連続減少)
- ② 全商品輸入額:6兆1,379億円(7.1%減、12ヶ月連続減少)
- ③ 貿易収支:9,319億円の赤字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:3兆1,054億円(27.3%減、18ヶ月連続減少)
為替・営業日要因を除いた実質的な伸び率:29.7%減(3ヶ月連続減少)
- ② 機械輸入額:1兆9,736億円(2.2%減、7ヶ月連続減少)

(2) 為替・営業日動向

2020年4月に3.4%の増加要因、5月に7.2%の減少要因、6月に8.8%の増加要因。
(6月の為替要因は6月18日の東京市場のレートにより、仮計算)

(3) 地域別動向

- ① 韓国・台湾向けを除く5地域向けで前年同月比減少(図表4、5)
- ② 北米向け:45.4%減、9ヶ月連続減少(図表4、5)
- ③ 中国向け:4.6%減、2ヶ月連続減少(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:31.3%減、16ヶ月連続減少(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU27向け:36.4%減、7ヶ月連続減少(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:0.2%増、2ヶ月ぶり増加(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:31.0%減、3ヶ月連続減少(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中2業種のみが増加。そのうち二桁の伸びを示した業種はなし

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 携帯電話(北米向け中心)が二桁の伸び
- ② 航空機部品、乗用車、鉄道車両、写真機の部分品・附属品、貨物自動車、デジカメ・ビデオ等が大きく減少

(6) 機械輸入動向(図表14)

機械輸入額上位12機種のうち、電子計算機、電子デバイス等9機種が増加

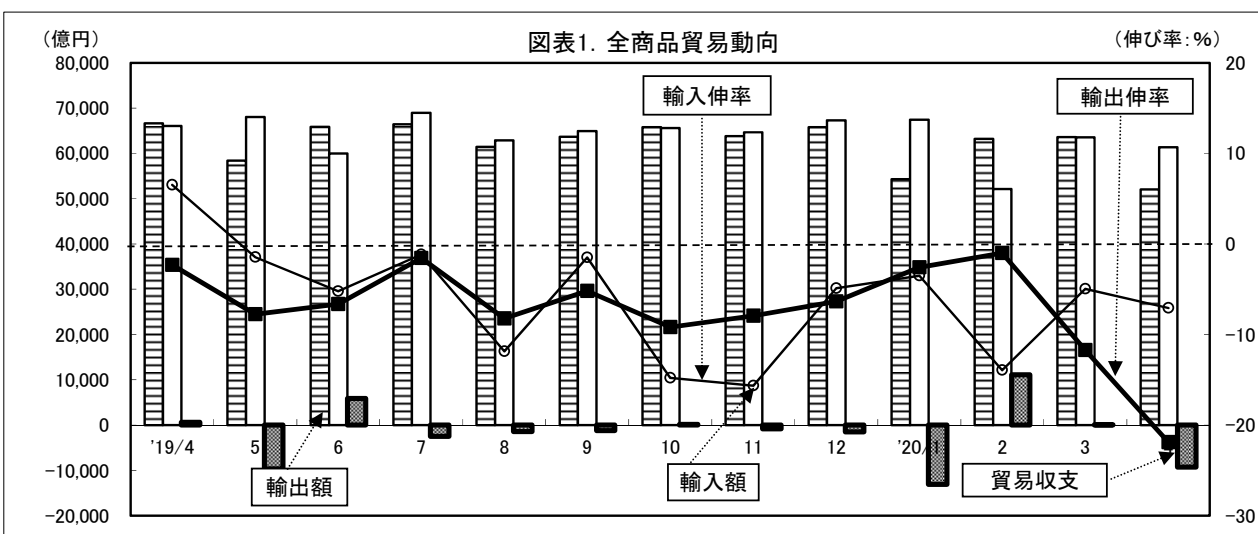
Ⅱ トピックス

今号のトピックスの掲載はありません。

Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は17ヶ月連続、輸入は12ヶ月連続で減少～

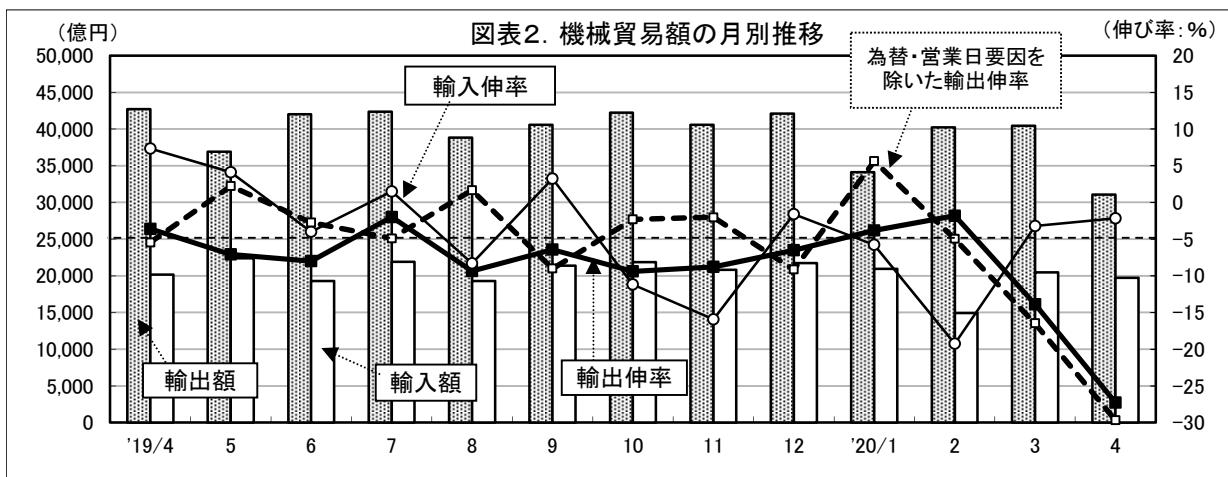
- 1) 2020年4月の全商品輸出額は**5兆2,060億円**、前年同月比(以下同じ)**21.9%減**と17ヶ月連続で減少した(3月11.7%減)。これは、約20%を占める一般機械(23.2%減)、約19%の電気機器(8.8%減)、約17%の自動車等輸送用機器(45.5%減)、約14%のプラスチック等化学製品(6.3%減)、約12%の鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(14.5%減)等が減少したためである。
- 2) 輸入額は**6兆1,379億円**、**7.1%減**と12ヶ月連続で減少した(3月5.0%減)。これは、全輸入額の約16%を占める電気機器(1.1%増)や約12%の医薬品等化学製品(13.2%増)、約11%の原料別製品(12.3%増)等が増加したものの、約16%を占める原油等鉱物性燃料(32.6%減)や約10%の一般機械(4.3%減)等が減少したことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、3ヶ月ぶりの赤字(9,319億円、3月は54億円の黒字)となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は18ヶ月連続、輸入7ヶ月連続で減少～

- 1) 全商品輸出額の約60%を占める4月の機械輸出額は**3兆1,054億円**、**27.3%減**と18ヶ月連続で減少した(3月13.9%減)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率**は**29.7%減**であった。
- 2) 一方、全商品輸入額の約32%を占める機械輸入額は、**1兆9,736億円**、**2.2%減**と7ヶ月連続で減少した(3月3.2%減)。

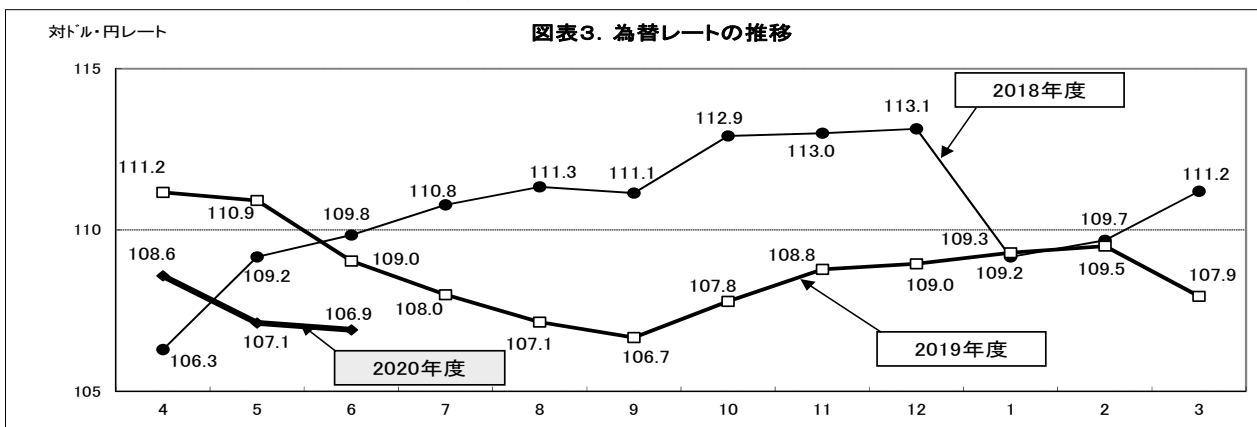


(2) 為替・営業日動向～4月は3.4%の増加要因、5月は7.2%の減少要因～

1) 2020年4月は1ドル=108.6円となり、前年に比べ2.3%の円高となった。また、対ユーロは118.5円と前年に対して5.4%の円高となり、合わせて約1.5%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日多いため、約5.0%の増加要因となり、合わせて約3.4%の増加要因となる。4月の輸出額は27.3%減であったことから、実質的伸び率は29.7%減と3ヶ月連続で前年同月比減少となった(3月16.5%減)。

2) 2020年5月は1ドル=107.1円で前年比3.4%の円高、対ユーロは117.8円で前年比5.5%の円高となり、合わせて約2.1%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日少ないため、約5.3%の減少要因となり、合計で約7.2%の減少要因となる。

3) 2020年6月は、対ドルが6月18日17:00時点の106.9円とすれば、前年比1.8%の円高、また、対ユーロは120.2円で1.8%の円高となり、合わせて約1.1%の為替減少要因となる。営業日は前年に比べて2日多いため、約10.0%の増加要因となり、合計で約8.8%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～韓国・台湾向けを除く5地域向けで前年同月比減少～

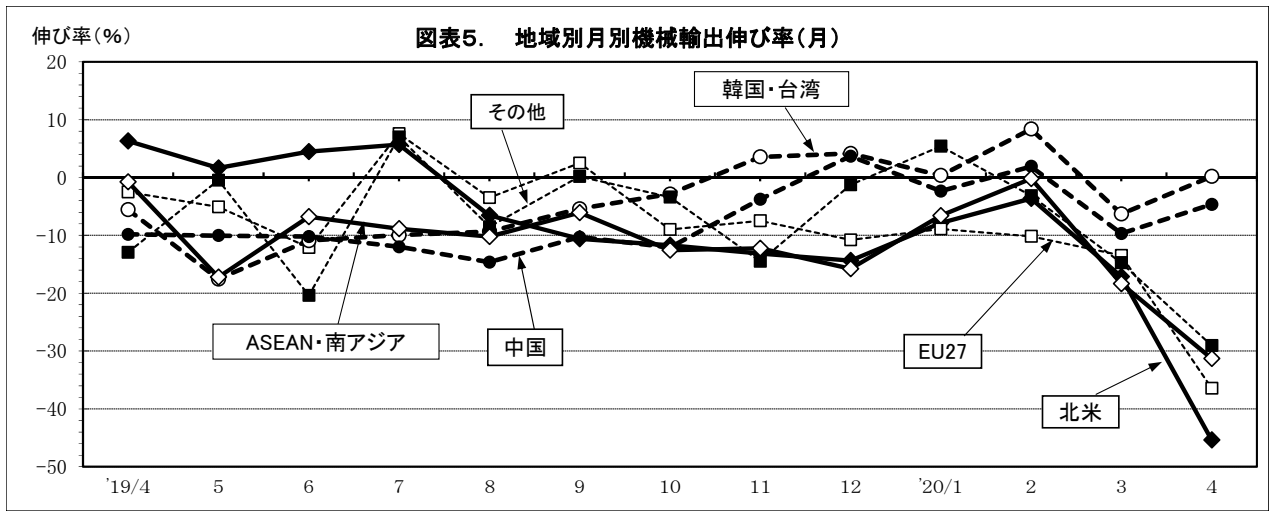
機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の20.6%を占める北米向けでは、35%を占める自動車(62.2%減)をはじめ、産業機械(18.7%減)、建設機械(26.1%減)、電池等軽電気機械(12.6%減)等が大きく減少し、45.4%減となった。②27.1%を占める中国向けでは、電子デバイス(4.0%増)、重電気機械(8.1%増)等が増加したものの、産業機械(9.9%減)、自動車(17.8%減)が減少して4.6%減となり、③14.2%のASEAN・南アジア向けは、ベトナム(3.3%増)向けが増加したものの、フィリピン(50.2%減)、インドネシア(44.4%減)、インド(60.0%減)等ほとんどの国向けが二桁の減少となり、業種でも電子デバイス(12.9%増)等が増加したものの、約19%を占める自動車(41.3%減)、産業機械(41.9%減)、軽電気機械(14.8%減)等が減少して31.3%減となった。④9.9%を占めるEU(英国を除く27ヶ国)向けは、27%を占める自動車(52.5%減)をはじめ、産業機械(22.1%減)、理化学用機械等軽機械(14.9%減)等が減少して36.4%の減少となり、⑤12.6%を占める韓国・台湾向けは、産業機械(0.8%減)が微減となり、自動車(29.4%減)が大きく減少したものの、電子デバイス(10.6%増)、重電気機械(4.5%増)、軽電気機械(2.4%増)、光学機械(8.0%増)等が増加して0.2%増となった。⑥14.0%のその他地域向けでは、中南米(18.7%減)向けをはじめ、大洋州(49.3%減)、アフリカ(44.7%減)向け、ロシア東欧等(39.1%減)等が大きく減少し、業種でも、船舶(28.9%増)が増加したものの、自動車(38.7%減)、産業機械(17.5%減)等が大きく減少して31.0%の減少となった。⑦なお、韓国・台湾向けの伸び率が微増し、中国向けの伸び率の減少幅が小さくなっているのは、主として半導体製造装置(韓国、中国)や半導体デバイス(台湾、中国)、コンデンサー等部分品(韓国、台湾、中国)が前年同月比で増加していることによる。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円、%)

	2020/2			2020/3			2020/4		
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア
全世界計	40,227	▲ 1.8	100.0	40,441	▲ 13.9	100.0	31,054	▲ 27.3	100.0
北米	10,487	▲ 3.6	26.1	9,758	▲ 17.1	24.1	6,410	▲ 45.4	20.6
中国	8,274	1.9	20.6	8,672	▲ 9.7	21.4	8,423	▲ 4.6	27.1
ASEAN・南アジア	5,885	▲ 0.2	14.6	5,746	▲ 18.4	14.2	4,419	▲ 31.3	14.2
EU (英国を除くEU27)	4,297	▲ 10.2	10.7	4,479	▲ 13.4	11.1	3,067	▲ 36.4	9.9
英国	724	▲ 12.5	1.8	701	▲ 16.4	1.7	458	▲ 45.2	1.5
韓国・台湾	4,071	8.4	10.1	4,426	▲ 6.3	10.9	3,928	0.2	12.6
その他	6,490	▲ 3.1	16.1	6,660	▲ 14.7	16.5	4,349	▲ 29.1	14.0

は、2ヶ月連続で前年比10%以上増加。

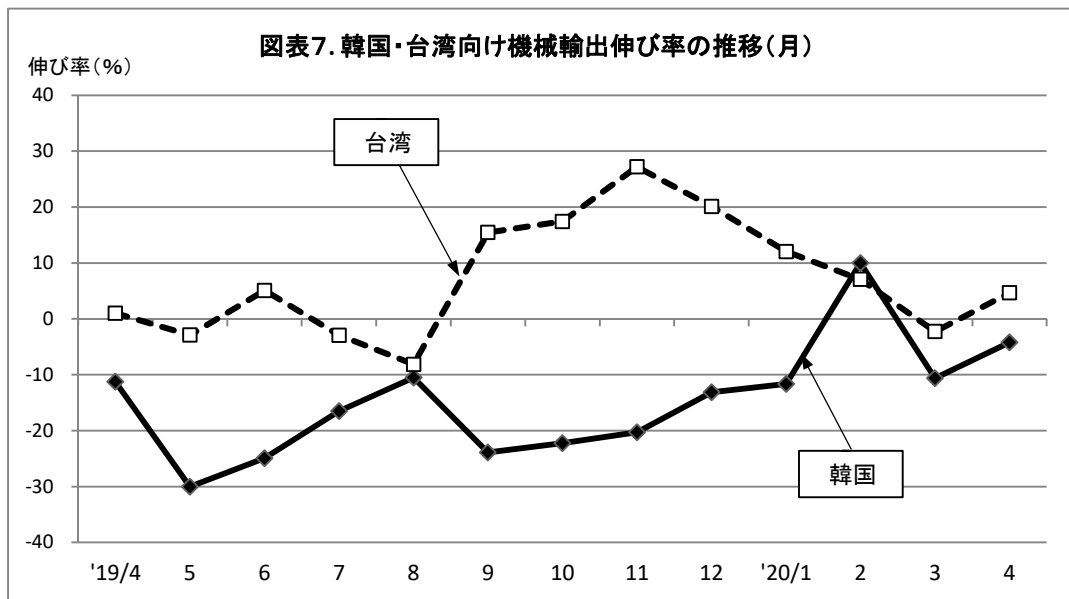


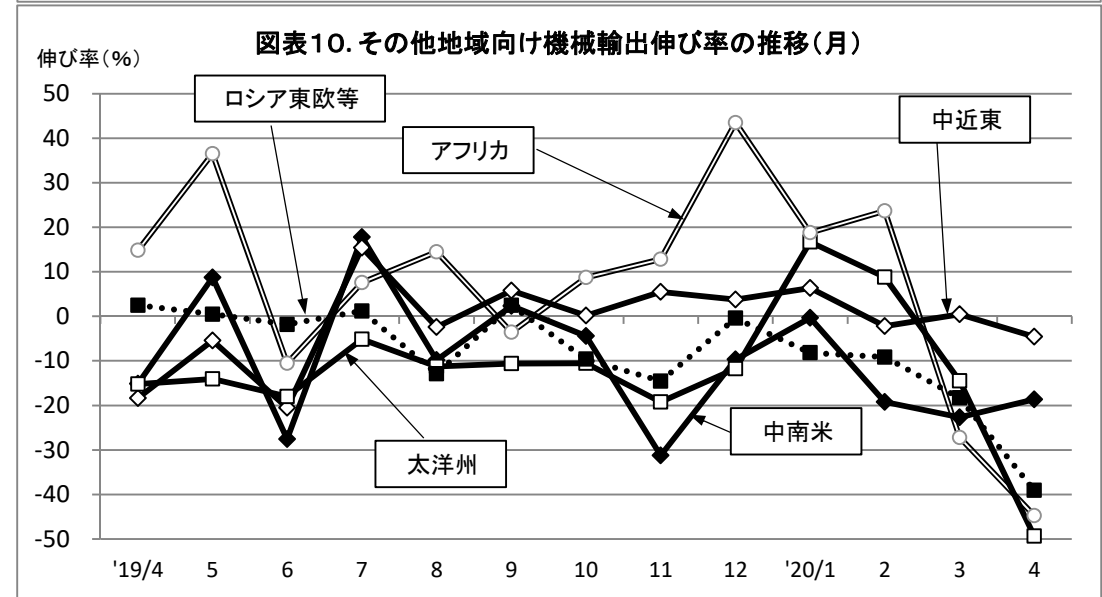
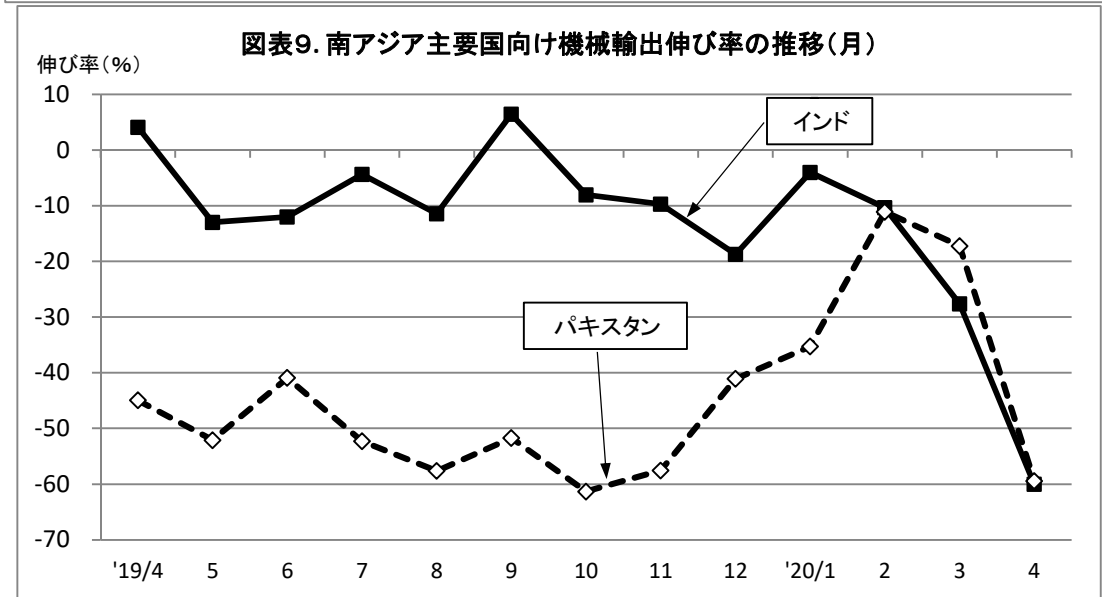
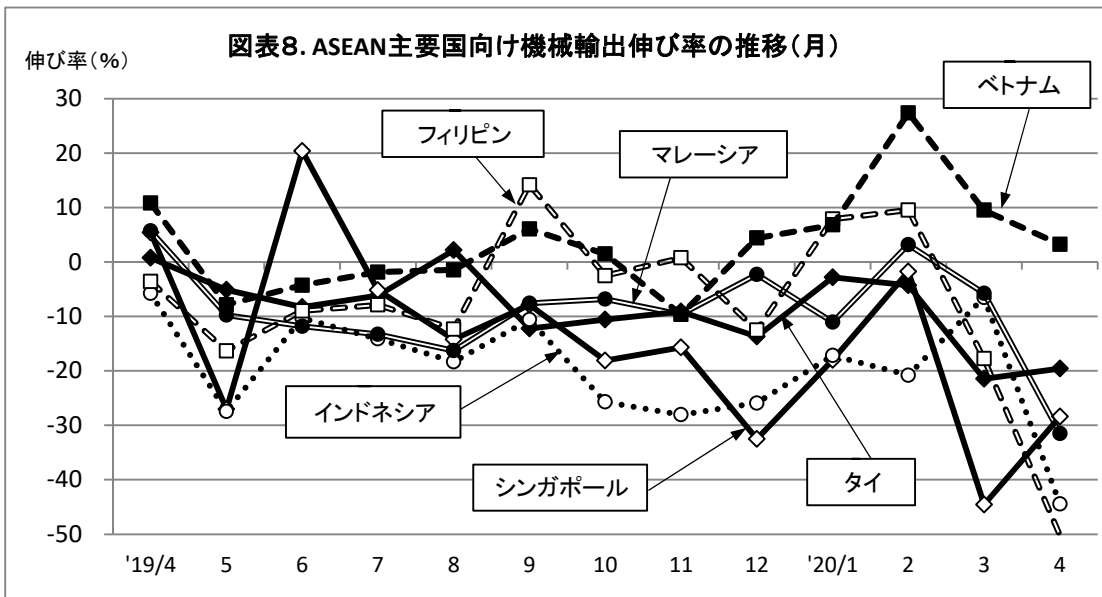
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円、%)

国名	2020/1		2020/2		2020/3		2020/4	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,472	▲ 11.6	1,878	10.0	2,023	▲ 10.6	1,893	▲ 4.2
台湾	1,915	12.1	2,194	7.0	2,403	▲ 2.3	2,035	4.7
ASEAN・南アジア								
タイ	1,338	▲ 2.8	1,522	▲ 4.3	1,398	▲ 21.5	1,275	▲ 19.6
シンガポール	796	▲ 18.0	886	▲ 1.7	756	▲ 44.5	755	▲ 28.4
インドネシア	587	▲ 17.2	618	▲ 20.8	767	▲ 6.5	511	▲ 44.4
マレーシア	552	▲ 11.0	639	3.2	655	▲ 5.8	488	▲ 31.5
フィリピン	545	7.9	627	9.5	515	▲ 17.8	316	▲ 50.2
ベトナム	618	6.8	814	27.4	847	9.5	731	3.3
インド	426	▲ 4.0	497	▲ 10.3	490	▲ 27.7	208	▲ 60.0
パキスタン	43	▲ 35.3	65	▲ 11.1	76	▲ 17.2	37	▲ 59.5
その他地域								
中南米	1,763	▲ 0.4	1,908	▲ 19.2	1,937	▲ 22.7	1,492	▲ 18.7
中近東	1,407	6.3	1,568	▲ 2.2	1,911	0.5	1,228	▲ 4.6
大洋州	1,132	16.7	1,146	8.8	1,159	▲ 14.5	662	▲ 49.3
ロシア東欧等	1,009	▲ 8.2	1,185	▲ 9.2	1,140	▲ 18.3	772	▲ 39.1
アフリカ	622	18.8	738	23.7	614	▲ 27.2	331	▲ 44.7

は、2ヶ月連続で前年同月比増加(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中 電子デバイス、繊維機械の2業種のみが増加。～

- 1)業種別では、電子デバイス(4.2%増)、繊維機械(6.3%増)の2業種のみが前年同月比で増加となった(3月は3業種)。3月に引き続き、二桁の伸びを示した業種はなく、機械全体では27.3%の減少となった。
- 2)前年同月比で減少となったのは19業種あり、そのうち自動車(47.2%減)、産業機械(17.9%減)、軽電気機械(11.1%減)をはじめ、17業種が二桁の減少であった。

図表11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2020/2				2020/3				2020/4			
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア
自動車	14,324	▲ 3.9	35.6	自動車	13,760	▲ 14.6	34.0	自動車	8,165	▲ 47.2	26.3
産業機械	7,180	▲ 6.7	17.8	産業機械	7,699	▲ 13.1	19.0	産業機械	6,347	▲ 17.9	20.4
電子デバイス	3,258	▲ 23.0	8.1	電子デバイス	3,359	▲ 6.2	8.3	電子デバイス	3,319	▲ 4.2	10.7
軽電気機械	2,425	▲ 14.7	6.0	軽電気機械	2,578	▲ 1.4	6.4	軽電気機械	2,110	▲ 11.1	6.8
重電気機械	1,956	▲ 3.4	4.9	重電気機械	2,067	▲ 9.6	5.1	重電気機械	1,789	▲ 13.0	5.8
船舶	1,639	▲ 3.6	4.1	軽機械	1,576	▲ 15.9	3.9	軽機械	1,423	▲ 19.7	4.6
軽機械	1,580	▲ 3.2	3.9	船舶	1,364	▲ 43.8	3.4	民生用電子機械	1,196	▲ 14.9	3.9
民生用電子機械	1,355	▲ 6.1	3.4	民生用電子機械	1,354	▲ 6.5	3.3	船舶	1,177	▲ 13.3	3.8
建設機械	1,063	▲ 17.5	2.6	建設機械	1,055	▲ 33.4	2.6	光学機械	1,005	▲ 8.7	3.2
光学機械	1,019	▲ 8.0	2.5	光学機械	1,051	▲ 6.0	2.6	建設機械	956	▲ 31.4	3.1
航空機部品	751	▲ 1.5	1.9	航空機部品	754	▲ 10.0	1.9	工作機械	481	▲ 33.5	1.5
工作機械	571	▲ 26.7	1.4	工作機械	640	▲ 33.1	1.6	医療機械	406	▲ 10.3	1.3
医療機械	518	▲ 7.0	1.3	医療機械	536	▲ 5.7	1.3	電子計算機	349	▲ 4.2	1.1
通信機械	430	▲ 5.3	1.1	通信機械	429	▲ 16.4	1.1	ベアリング	349	▲ 17.4	1.1
陸用内燃機関	399	▲ 12.4	1.0	陸用内燃機関	391	▲ 20.5	1.0	通信機械	345	▲ 24.9	1.1
電子計算機	351	▲ 0.7	0.9	ベアリング	364	▲ 20.5	0.9	航空機部品	336	▲ 58.0	1.1
ベアリング	349	▲ 15.2	0.9	電子計算機	360	▲ 17.6	0.9	陸用内燃機関	331	▲ 29.0	1.1
農業機械	224	▲ 10.4	0.6	農業機械	225	▲ 0.4	0.6	農業機械	191	▲ 12.1	0.6
繊維機械	176	▲ 20.3	0.4	繊維機械	181	▲ 13.2	0.4	繊維機械	180	▲ 6.3	0.6
産業車両	113	▲ 6.9	0.3	産業車両	122	▲ 5.9	0.3	産業車両	96	▲ 13.0	0.3
鉄道車両	27	▲ 60.9	0.1	鉄道車両	34	▲ 60.5	0.1	鉄道車両	49	▲ 50.7	0.2
21業種合計	39,708		98.7	21業種合計	39,900		98.7	21業種合計	30,598		98.5

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～携帯電話が二桁増加、航空機部品、乗用車、鉄道車両等が大幅減少～

- 1)10%以上の伸び率を示した機種は、北米向け携帯電話(14.1%増)の1機種のみであった。
- 2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、航空機部品(58.0%減)、乗用車(52.2%減)、鉄道車両(50.7%減)、写真機の部品・附属品(49.5%減)、貨物自動車(45.2%減)、デジカメ・ビデオ(43.4%減)等であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2020/2			2020/3			2020/4		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
電池	517	27.4	電池	588	17.0	携帯電話	23	14.1
電子デバイス	3,258	23.0	産業用ロボット	173	13.6	機種合計	23	* 0.1%
発電機	63	22.4	機種合計	761	* 1.9%			
電気・電子計測器	468	15.4						
産業用ロボット	166	14.5						
その他の光学機器	862	13.8						
配電機器	486	13.7						
時計	72	10.7						
農業機械	224	10.4						
電動機	194	10.3						
機種合計	6,310	* 15.7%						

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信機器:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表13. 減少率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2020/2			2020/3			2020/4		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	27	▲ 60.9	携帯電話	12	▲ 61.9	航空機部品	336	▲ 58.0
携帯電話	16	▲ 40.5	鉄道車両	34	▲ 60.5	乗用車	4,544	▲ 52.2
工作機械	571	▲ 26.7	船舶	1,364	▲ 43.8	鉄道車両	49	▲ 50.7
繊維機械	176	▲ 20.3	時計	68	▲ 33.5	写真機の部分品・附属品	64	▲ 49.5
建設機械	1,063	▲ 17.5	建設機械	1,055	▲ 33.4	貨物自動車	402	▲ 45.2
写真機の部分品・附属品	82	▲ 16.1	工作機械	640	▲ 33.1	デジカメ・ビデオ	153	▲ 43.4
ベアリング	349	▲ 15.2	写真機の部分品・附属品	71	▲ 32.7	自動車部品	2,876	▲ 39.9
陸用内燃機関	399	▲ 12.4	デジカメ・ビデオ	172	▲ 28.5	時計	54	▲ 37.9
TV	109	▲ 11.3	金属加工機械	253	▲ 24.4	工作機械	481	▲ 33.5
機種合計	2,792	* 6.9%	伝動機	368	▲ 21.3	建設機械	956	▲ 31.4
			機種合計	4,037	* 9.9%	機種合計	9,915	* 24.5%

は、2ヶ月連続で減少率上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～上位12機種のうち電子計算機、電子デバイス等9機種が増加～

- 1) 4月の機械輸入伸び率は2.2%減と7ヶ月連続で減少した。上位12機種のうち電子計算機(5.9%増)、電子デバイス(5.5%増)、携帯電話(10.8%増)をはじめ、9機種が前年同月に比べて増加し(3月は5機種)、そのうち携帯電話と乗用車(12.3%増)、受信変換その他送受信機器(20.2%増)の3機種が二桁増加となった。減少したのは、自動車部品(17.5%減)、医療機械(4.1%減)、配電機器(13.7%減)の3機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、携帯電話、航空機・部品等、白物家電、医療機械、受信変換その他送受信機器、配電機器、TV、デジカメ・ビデオ、通信機械部分品、時計の11機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の44%を占める中国(8.3%増)、ASEAN・南アジア(13.6%減)、韓国・台湾(4.7%増)、北米(1.1%減)、EU27(13.1%減)、その他地域(28.4%増)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2020/2				2020/3				2020/4			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	1,920	3.2	12.8	電子デバイス	2,205	▲ 0.9	10.8	電子計算機	2,225	5.9	11.3
電子計算機	1,397	▲ 25.8	9.3	電子計算機	1,987	▲ 9.6	9.7	電子デバイス	2,156	5.5	10.9
航空機・部品等	1,018	▲ 1.1	6.8	携帯電話	1,682	83.6	8.2	携帯電話	1,575	10.8	8.0
自動車部品	760	▲ 24.9	5.1	乗用車	1,179	15.5	5.8	乗用車	1,088	12.3	5.5
乗用車	693	▲ 30.6	4.6	航空機・部品等	1,082	▲ 28.7	5.3	航空機・部品等	1,006	4.6	5.1
携帯電話	682	▲ 48.6	4.6	自動車部品	1,008	▲ 10.3	4.9	自動車部品	853	▲ 17.5	4.3
医療機械	662	▲ 7.2	4.4	医療機械	758	▲ 7.9	3.7	白物家電	803	1.0	4.1
受信変換その他送受信	491	▲ 13.9	3.3	白物家電	668	▲ 11.1	3.3	医療機械	682	▲ 4.1	3.5
配電機器	458	▲ 13.4	3.1	受信変換その他送受信	650	6.9	3.2	受信変換その他送受信	641	20.2	3.2
白物家電	397	▲ 38.3	2.7	配電機器	628	▲ 0.8	3.1	配電機器	505	▲ 13.7	2.6
その他の配電制御装置	283	▲ 12.9	1.9	コンデンサー等部分品	404	4.1	2.0	コンデンサー等部分品	378	3.5	1.9
コンデンサー等部分品	269	▲ 19.2	1.8	その他の配電制御装置	394	1.4	1.9	風水力機械	374	2.9	1.9
12機種合計	9,030		60.4	12機種合計	12,645		61.7	12機種合計	12,286		62.3

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械
 ・受信変換その他送受信機器:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等